

研究課題名：	肝細胞がん患者の予後予測指標の新規開発 多施設共同後ろ向き観察研究
所属（診療科等）：	公立昭和病院（消化器外科）
研究責任者（職名）：	秦正二郎（副部長）
研究代表者（所属）	関西医科大学 外科学講座 講師 小坂久
試料・情報の提供責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
試料・情報の管理責任者：	
研究期間：	2024年2月15日～2026年12月31日
研究目的と意義：	<p>肝切除を実施した肝細胞癌患者を対象として、患者因子や腫瘍因子を解析し、その予後（生存期間）を予測しうる指標を探索する。主要評価項目は、全生存期間に関する予後予測能を有する因子及びその組み合わせの同定とする。また、副次評価項目は、無再発生存期間に関する予測能を有する因子及びその組み合わせの同定とする。</p> <p>担癌患者において、その予後を予測する事は、治療戦略の構築や患者のライフプランニングの為に極めて重要である。血液中のCRPとアルブミン値で構成されるThe Glasgow prognostic score (GPS スコア)は、種々の担癌患者の予後予測に有用である事が報告されているが、肝細胞癌患者において、GPS スコアは有効な予後予測能を示し得なかった。一方で、申請者らが考案したアルブミン値をalbumin-bilirubin grade (ALBI グレード)に置き換えたneo-GPS スコアは、肝細胞癌患者の予後を有効に予測し得た。</p> <p>しかしながら、上述の結果は、申請者らの単施設のデータを用いた研究結果である事から、多施設共同研究で、真に有用な予後予測因子の解明が必要と考えられる。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さん 2014年1月1日から2018年12月31日までの期間に当院で肝細胞癌に対し肝切除術を受けた方</li> <li>●利用し、又は提供する試料・情報の項目 術前術後の、血液学的検査所見、生理学的検査所見、腫瘍マーカー、各種画像、手術関連の各種パラメーター、病理組織検査所見、無再発期間、生存期間等</li> <li>●提供する試料・情報の取得方法 電子カルテ上の情報から抽出</li> <li>●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む） 匿名化して個人情報と紐付けられないようにした症例データを関西医科大学病院へ提供する。 各種癌の予後を予測する上で、血清alb値、CRP値を用いたGPSスコアは有用とされているが、肝細胞癌においては、肝機能の要素を加味しないといけないため、有効性が不十分である。そこで肝機能評のためのALBIグレードを併用するneo-GPSスコアが考案し、肝細胞癌患者の予後予測に有用であるかを韓国との多施設共同試験で検討するものである。</li> <li>●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名） 関西医科大学 外科学講座 講師 小坂久</li> </ul>

京都市立医科大学 吉井健悟

問い合わせ先：

【研究担当者】（研究全般に関すること）

例 1. 研究計画や研究方法に関する資料の入手・閲覧に関すること

例 2. 試料・情報の利用又は多機関への提供を停止する旨に関すること

例 3. 研究により得られた結果等に関すること

氏名：秦正二郎（消化器外科）

住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号

電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912

【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く）

総務課 042（461）0052 内線 2247

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）